プログラム学習で町おこしについて

受付日：令和8年9月4日　　回答日：令和8年9月24日

【ご意見の内容】

小学校でプログラム学習が行われているようですが、地域の大人も一緒になって、親子でプログラムを学べる場を町の片隅、まず都万地区から提供して頂きたい。

三鷹市でもプログラム学習補助機材「マイクロビット」を使った町おこしが行われています。隠岐の島は産業が少ないが、小学校で習わなかった大人もどんなものか理解できたら、良いと思います。

【回答】

インターネット環境、タブレット等ともに、現時点においては、個別の公民館に整備することは計画しておりませんが、この度のご提案の趣旨等を踏まえ、本町の将来を担う子供たちへのより効果的な教育環境や、各地域における生涯学習の拠点を提供について、今後も検討してまいります。

プログラミング学習キットである「マイクロビット」の配布等につきましては、現時点において、公民館独自での新たなプログラミング講座の開設等の予定はございませんが、この度のご提案や公民館活動、町民の皆様の学習ニーズ踏まえ検討してまいります。

なお、公民館では、令和 5 年度から令和 7 年度まで、プログラミング教室を開催し、小学校3年生以上の児童、生徒及び保護者の皆様にご参加いただきました。

この講座は、「子供たちへのプログラミング教育の向上を図りたい」「学校教育の現場においてもプログラミング教育の魅力を伝えたい」との思いから、隠岐青年会議所様、隠岐法人会様との共催事業として実施したところでございます。

本町といたしましても、プログラム学習につきましては、今後の AI 時代に必要な「論理的思考力」や「問題解決能力」を培うために、重要な学習であると承知しております。

町民の皆様にとって、「生まれて良かった」「住んで良かった」と感じていただける教育環境の充実に、限られた予算の中ではございますが、引き続き取り組んでまいります。